



DBJ

EUにおける研究開発の動向

-日本へのインプリケーション-

2006年4月21日(金)開催 国際シンポジウム:
「日本とドイツにおけるバイオテクノロジー・クラスター」

日本政策投資銀行 国際部 深澤 哲

東京都千代田区大手町 1-9-1

E-mail : safukas@dbj.go.jp

<http://www.dbj.go.jp/>

リスボン戦略と研究開発

DBJ

Lisbon Strategy(リスボン戦略) :

- 2000年3月にポルトガルのリスボンで開かれたEU(欧州連合)の閣僚理事会(加盟国首脳による最高会議)で採択されたEUの経済社会戦略。
- ”2010年までに最も競争力がありダイナミックな、知識基盤型経済“となることを目指すもの。当初は経済、社会および環境の諸側面での目標達成を掲げたが、2006年3月に採択された「新リスボン戦略」では、「経済成長と雇用創出」に重点を置くことを明確化。
- 新戦略では、成長促進のために研究開発へのEU域内での投資を増加させ(GDP比3%が目標)、R&D果実の産業基盤への還元などが盛り込まれている他、欧州工科大学(EIT: European Institute of Technology)の創設にも言及。
- Framework Programmeにも、リスボン戦略の方針が反映されている(後述)。





EUの研究開発

- Framework Programme for RT&D-

- フレームワークプログラム (Framework Programme):**
 欧州連合 (EU) による研究開発を支援するための資金供給の枠組み。
 7次プログラム (FP7) では、European Research Areaの創設とリスボン戦略の主目標である“知識基盤型経済”の実現をも主要ターゲットとする。

期間

第1次: 1984 - 1987

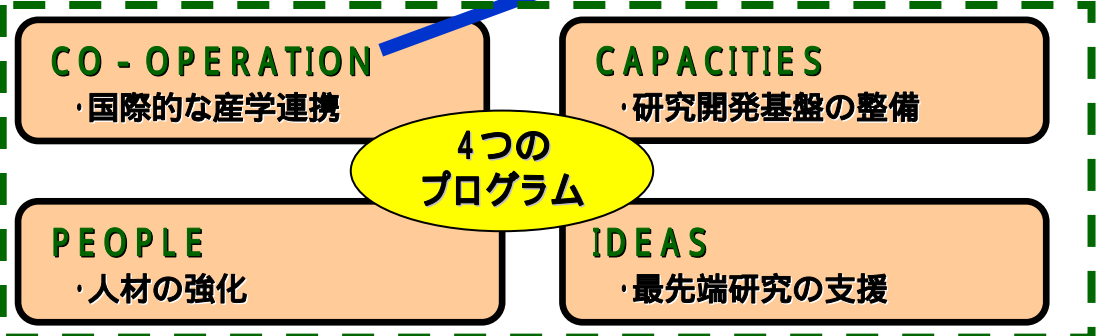
第6次: 2002 - 2006 (現在進行中)

第7次: 2007 - 2013

ターゲットとする分野

- 健康
- 食料、農業、バイオ
- 情報通信技術
- ナノサイエンス、ナノテクノロジー
材料、製造技術
- エネルギー
- 環境 (含む気候変動)
- 運輸 (含む航空技術)
- 社会経済/人文科学
- セキュリティーと宇宙

FP7の構成





日本での動き

-R & D、新産業創造、地域活性化-

経済産業省

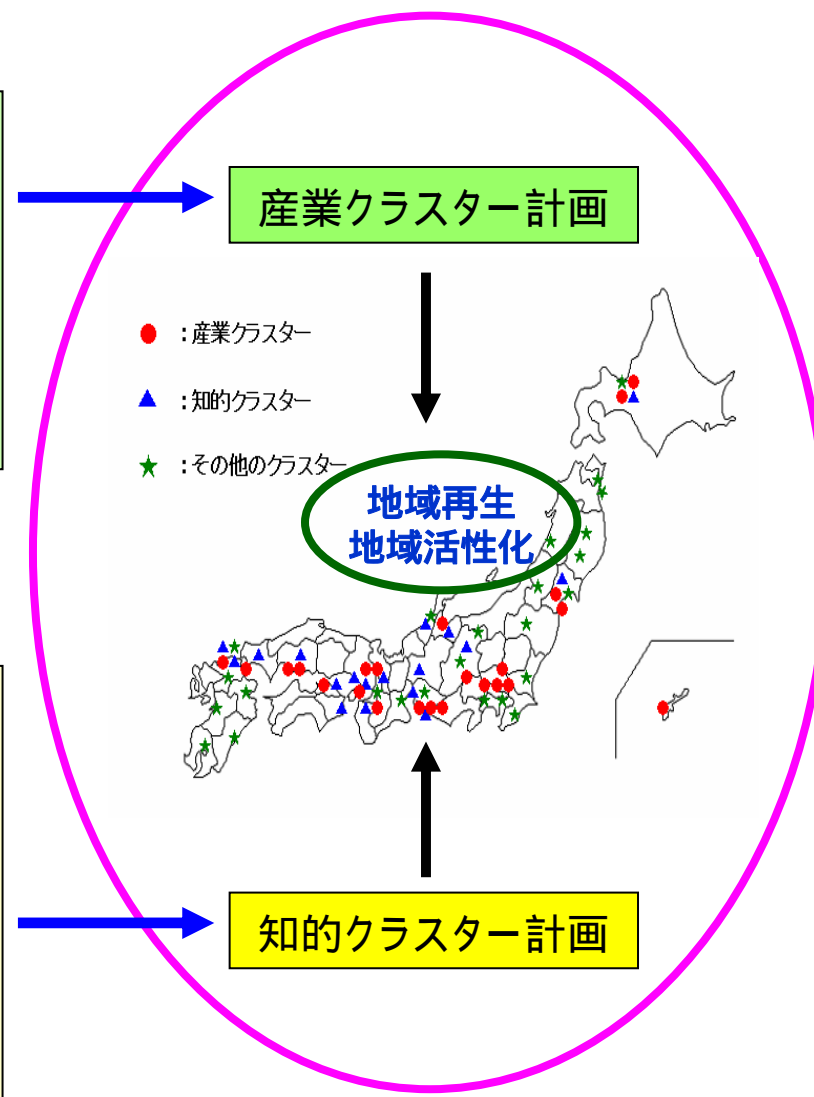
新産業創造戦略

- 戦略7分野**
1. 燃料電池
 2. 情報家電
 3. ロボット
 4. コンテンツ
 5. 健康福祉機器・サービス
 6. 環境/エネルギー機器・サービス
 7. ビジネス支援サービス

文部科学技術省

第三期科学技術計画

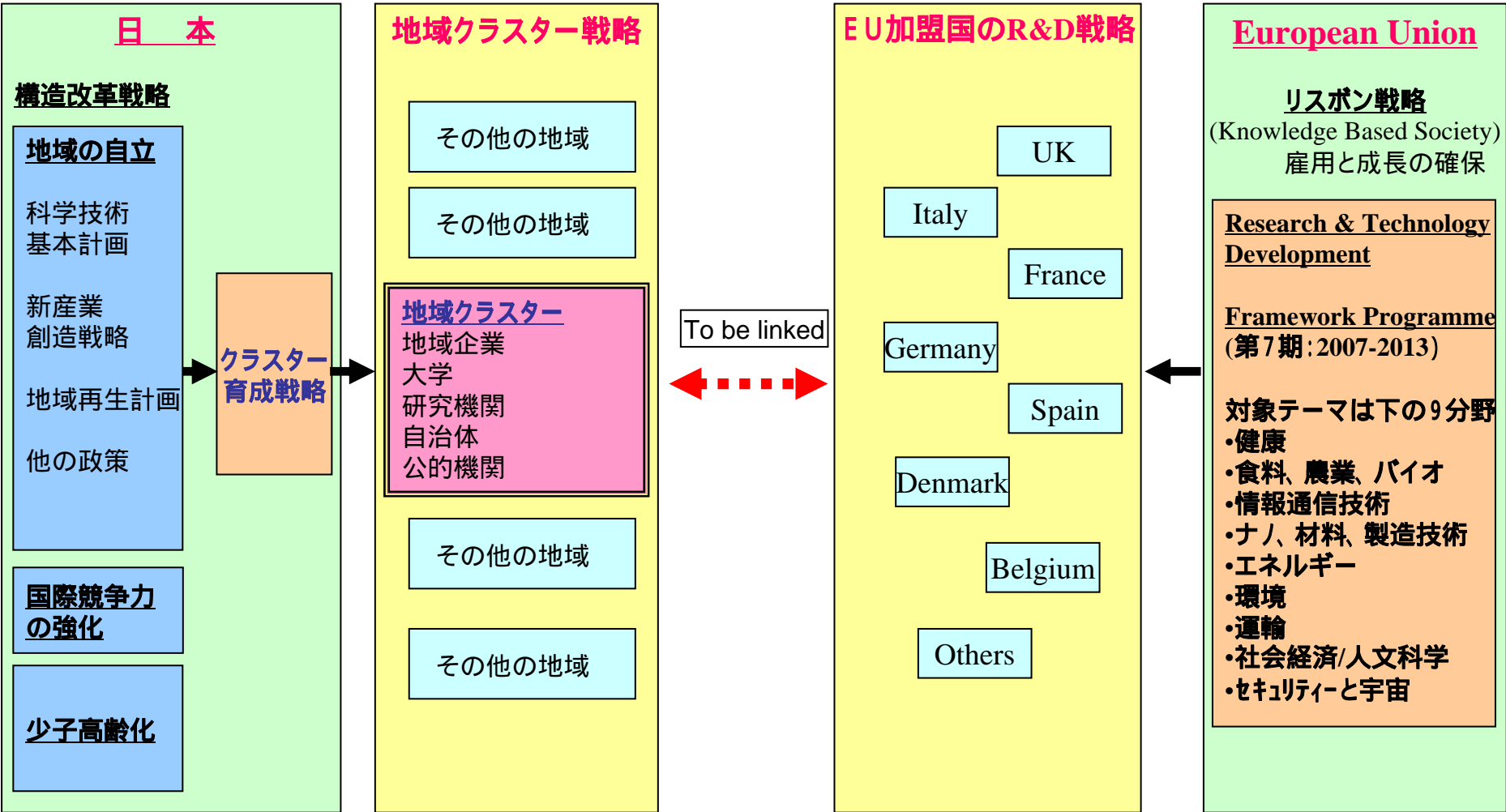
- 重点推進4分野**
1. ライフサイエンス
 2. 情報通信
 3. 環境
 4. ナノテクノロジー・材料
- 推進4分野**
1. エネルギー
 2. ものづくり技術
 3. 社会基盤
 4. フロンティア

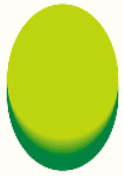


地域クラスターの国際連携



DBJ





DBJ

The sun also rises

Japan is at last ready to surprise the world by how well it does, not how badly, writes Bill Emmott, editor of The Economist ... [more](#)



October 8th-14th 2005

ご静聴ありがとうございました。